

2025 年度 傾斜的研究費（全学分）国際研究環支援 研究報告書

※本学 HP での公表を前提に記入してください。

【研究費区分】：国際研究環支援

【研究代表者所属】：都市環境科学研究科 観光科学域

【研究代表者氏名】：沼田真也

【研究代表者氏名フリガナ】：ヌマタシンヤ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

・都市環境科学研究科 西川完途 客員教授（京都大学 人間・環境学研究科 教授）

【HP（*本研究の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

・

【活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（800～1000 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

2025 年 9 月に分担者らとともに、ベトナム北部の Ba Vi 国立公園およびベトナム国立林業大学を訪問し、研究連携の強化と今後の共同研究の具体化を目的としたミーティングや現地活動を実施した。ベトナムの国立公園では、生物多様性に関する基礎データの不足に加え、違法伐採や密猟などの人為的圧力が野生生物に影響を与えている一方、観光利用の拡大に伴う環境負荷も懸念されている。このような背景を踏まえ、本研究では①生物多様性情報基盤の構築、②観光活動が生物多様性に与える影響の解明、③観光客の体験向上と持続可能な観光の促進という三つの研究テーマを設定し、国際的な研究協力体制の形成を目指し、Ba Vi 国立公園を対象に、日本とベトナムの研究機関および国立公園当局が連携し、生物多様性保全と観光事業の両立を図るための研究基盤を構築することを目的とした。

現地では、Ba Vi 国立公園管理局との会議を複数回実施し、公園が直面する管理上の課題や研究ニーズについて意見交換を行った。また、ベトナム国立林業大学では学部関係者および国際交流担当者との打ち合わせを行い、学生参加型の研究活動や人材交流の可能性について議論した。さらに、大学の学生とともにミニワークショップを開催し、国立公園における生物多様性調査や持続可能な観光の考え方について紹介するとともに、若手研究者・学生との意見交換を行った。これらの活動を通じて、研究・教育・実務を結びつけた協働体制の重要性が共有され、今後は学術交流協定の締結、共同研究の推進に向けたスタッフ交流等を進めていくことを確認した。



ベトナム国立林業大学および Ba Vi 国立公園管理当局関係者とのミーティング終了後のグループフォト



ベトナム国立林業大学で開催したミニワークショップ後のグループフォト

今後、本研究グループは Ba Vi 国立公園を拠点とした長期的な共同研究を展開し、生物多様性モニタリングや観光利用の影響評価に関する調査を進める予定である。また、ワークショップやシンポジウムの開催を通じて、日本とベトナムの研究者、国立公園管理者、学生が参加する国際的な研究ネットワークを構築し、研究成果を国立公園管理や観光ガイドラインの策定に還元することを目指す。これにより、生物多様性保全と持続可能な観光利

用を両立するモデルケースの提示と、地域に根ざした研究拠点の形成を進めていく。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

・なし

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・審査中 Dinh, S. T., K. Nishikawa, V. Q. Luu , H. Q. Nguyen , S. Numata (minor revision) New records and an updated herpetofaunal list from Ba Vi National Park, Vietnam. Biodiversity Data Journal.

・審査中 Ta, T. N., Nishikawa, V. Q. Luu , Y. Kojima, D. V. Tran, T. A. Dao, S. Numata (under review) Spatial and Seasonal Dynamics of Amphibian and Reptile Roadkill in Ba Vi National Park, Northern Vietnam.

Current Herpetology

【学会会議開催実績報告】

・Mini-Workshop on Tourism-Conservation-Herpetofauna. Vietnam National University of Forestry 2025 年 9 月 29 日

（※国際学会会議にあたるものには「・」を「＊」にすること。）

【海外研究者の招聘実績】

・なし

【外部資金への応募状況】

・環境研究総合推進費（環境問題対応型研究 一般課題） 不採択

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・基盤研究 B「自然ツーリズム・レクリエーションの将来需要に関する研究」（研究代表者：沼田真也 2026～2029 年度）採択

【受賞等】

・なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・一般社団法人環境情報科学センター 編集委員会委員
- ・国際自然保護連合（IUCN） 委員、
- ・IUCN-世界保護地域委員会(WCPA) 委員
- ・観光と保護地域専門家グループ(TAPAS) メンバー
- ・文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 専門調査員
- ・八王子市環境審議会 委員・会長
- ・多摩市みどりと環境審議会 委員・会長
- ・多摩市文化財保護審議会 委員
- ・多摩・島しょ地域自治体における生態系保全にあり方に関する調査研究（(公財)東京市町村自治調査会）監修
- ・東京都レンジャー講習 講師 2025 年 10 月
- ・多摩市気候市民会議 講師・アドバイザー
- ・IAESTE（International Association for the Exchange of Students for Technical Experience）インターン生の受け入れ（チェコ共和国 2025 年 9 月～10 月）
- ・その他、審査（東京都財務局）、アドバイス、外部人事評価委員等

【研究成果による特許等の産業財産権の出願・取得状況】

(産業財産権の種類, 名称, 出願番号, 出願年月日)

・

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名,所属,金額 (円))

・